

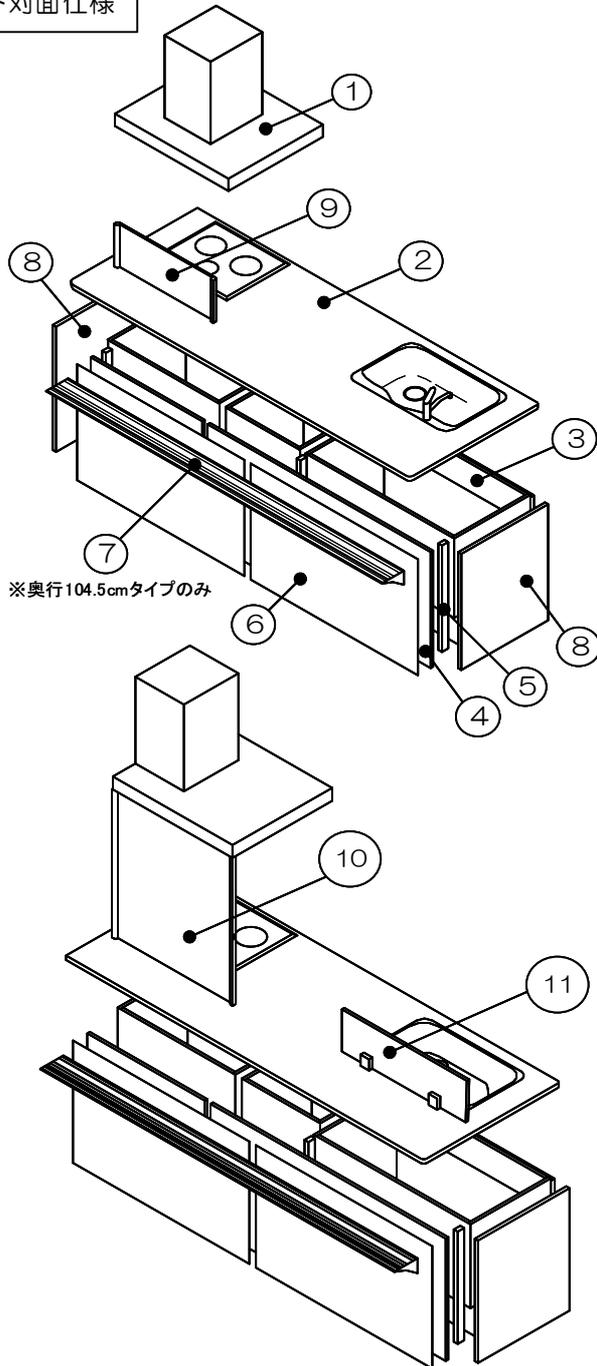
フラット対面キッチン 設置説明書

もくじ

設置される方へ

1. 設置される方へのお願い	2
2. 安全上のご注意	2
3. 設置前のご確認	3
4. 設置方法	4
5. 仕上げ	23
6. 安全点検および試運転	23
7. お願い事項	23

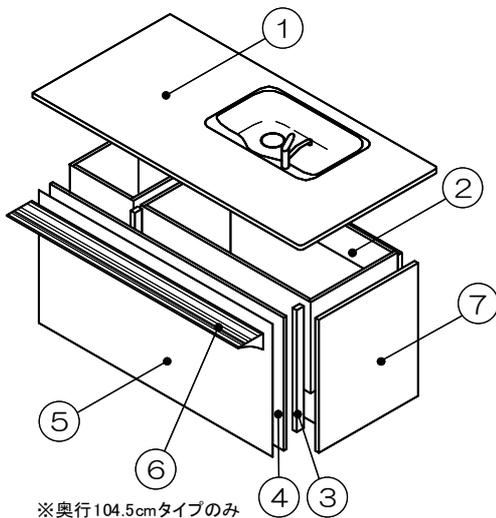
フラット対面仕様



- ①フラット対面キッチン用レンジフード
- ②フラット対面キッチン用ワークトップ
- ③キッチン側キャビネット
- ④バックパネル下地(2枚、ブザイP-BB*に同梱)
- ⑤パネル取付棧(2本、ブザイP-BB*に同梱)
- ⑥バックパネル(ホーロータイプ:2枚、木製タイプ:3枚)
- ⑦ワークトップ補強金具(※奥行104.5cmタイプのみ)
- ⑧エンドパネル
- ⑨オイルガード(※オプションで選択の場合のみ)
- ⑩ハイトタイプオイルガード(※オプションで選択の場合のみ)
- ⑪シンクガード(※オプションで選択の場合のみ)

※リビング側収納プランの場合はリビング側収納に同梱されている設置説明書を合わせて参照してください。

フラット対面Ⅱ列型仕様



- ①フラット対面キッチン用ワークトップ
- ②キッチン側キャビネット
- ③パネル取付棧(2本 ※バックパネル下地に同梱)
- ④バックパネル下地
(間口180以下:1枚、セコウブザイP-BB*に同梱)
(間口195以上:2枚、ブザイP-BB*に同梱)
- ⑤バックパネル
(間口180以下:1枚、間口195以上:2枚)
- ⑥ワークトップ補強金具(※奥行104.5cmタイプのみ)
- ⑦エンドパネル:1枚

1. 設置される方へのお願い

- 本説明書は、フラット対面キッチンに関する設置説明書です。フロアベースキャビネットや、その他のキャビネット、およびビルトイン機器・水栓金具・オプションは、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください。
- ワークトップ高さが900mmの場合は、台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。
- 設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意 必ずお守りください

設置前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみが発生が想定される」内容です。		このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

警告

シンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋をしなくて切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

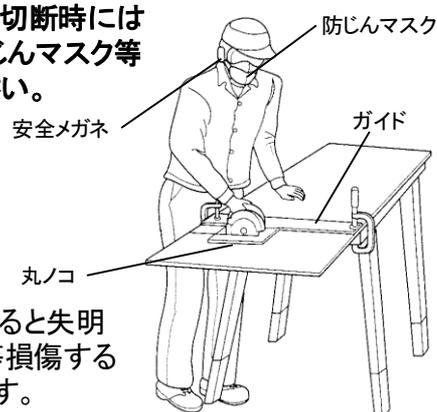


接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

ホーロー部材の切断時には安全メガネ、防じんマスクを着用してください。

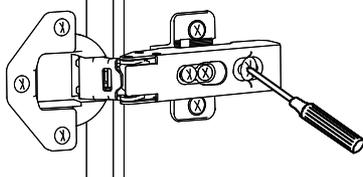


切り粉が目に入ると失明したり、やけど等損傷するおそれがあります。



注意

●設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番や引戸レールのゆるみのないことを必ず確認してください。



●扉、引戸の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

●設置に使用される溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしたがって、正しくお使いください。



●誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になるおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないよう、正しく取付けてください。

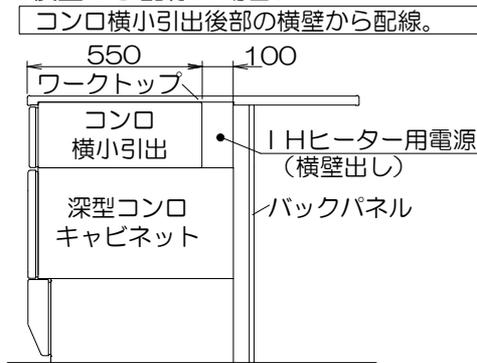


取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

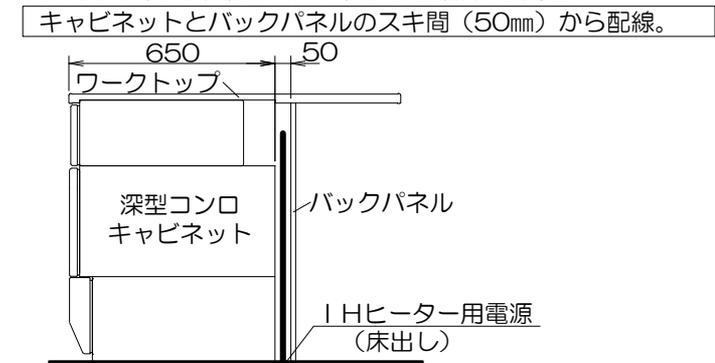
◎IHヒーター用電源について

後部に配管スペースがない為、IHヒーター用電源の配線を通す位置に限られます。

<横壁から配線の場合>



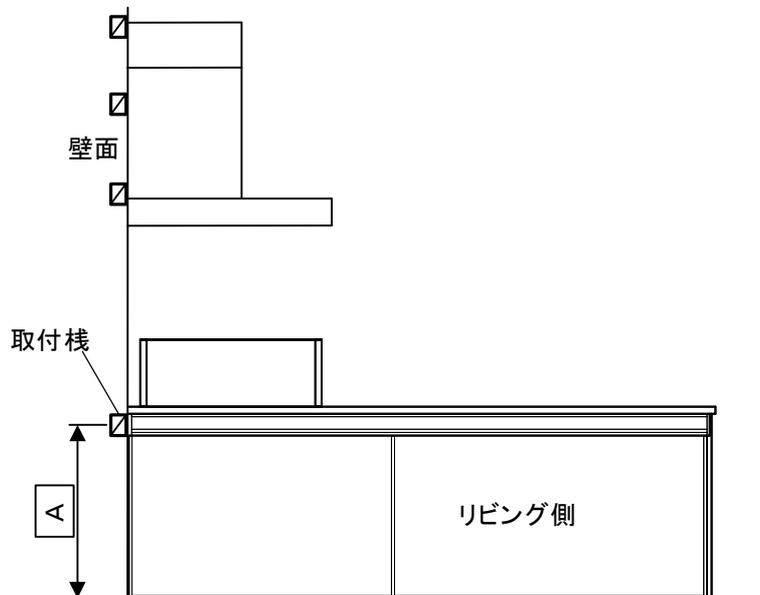
<リビング側に収納が無く床から配線する場合>



●ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。

●ネジ打ち位置の壁面下地が十分な強度を有するか確認してください。強度が十分でない場合は、取付ネジの位置に巾40mm以上の桟木を壁面下地に取付けてください。

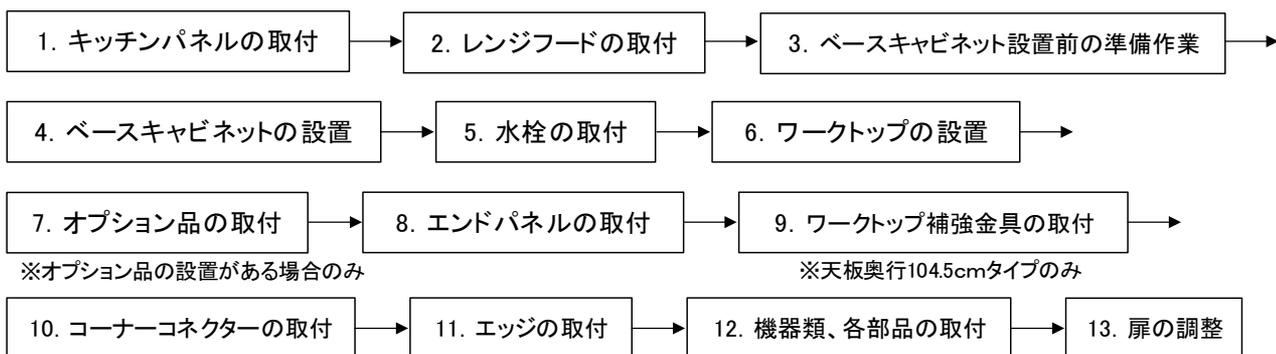
ワークトップ高さ(mm)	A寸法(mm)
820	780
850	810
900	860



※レンジフードの取付桟位置は、レンジフードに付属の「設置説明書」を参照願います。

4.設置方法

下記の手順にしたがって、設置作業を進めてください。



1. キッチンパネルの取付(キッチンパネルを取付ける場合のみ)

キッチンパネル付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2. レンジフードの取付

レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

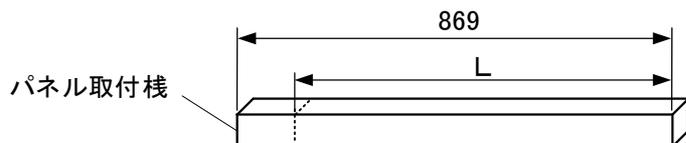
3. ベースキャビネット設置前の準備作業

【1. 台輪スペーサーの取付】(ワークトップ高さ900mmの場合のみ)

台輪スペーサーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

【2. パネル取付棧の取付】

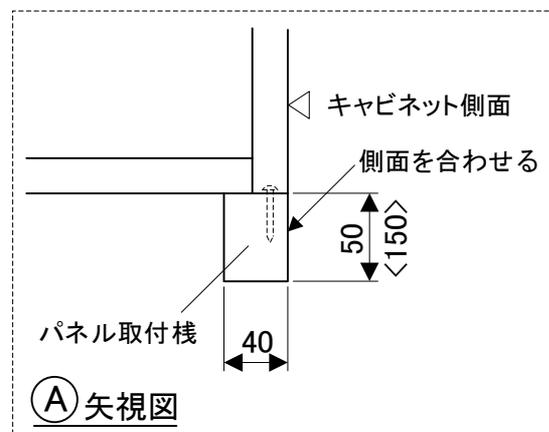
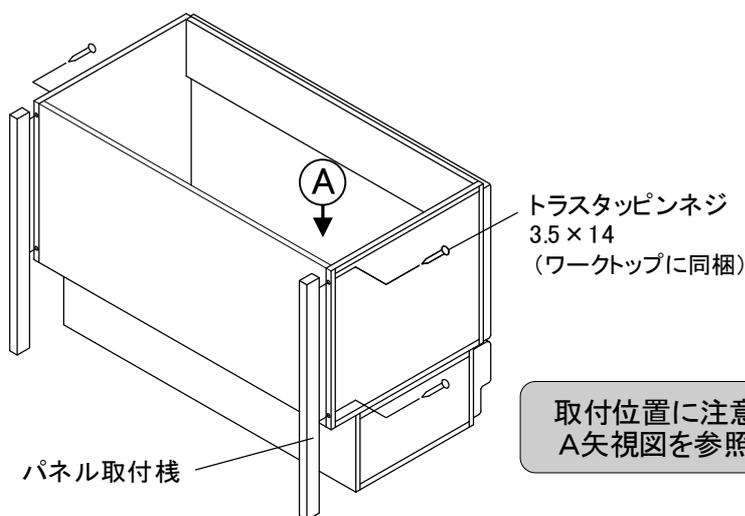
- ①バックパネル下地材に同梱している2本の棧(L=869)を、右記の寸法に加工してください。



ワークトップ高さ (mm)	L寸法 (mm)
820	789
850	819
900	869 (カット不要)

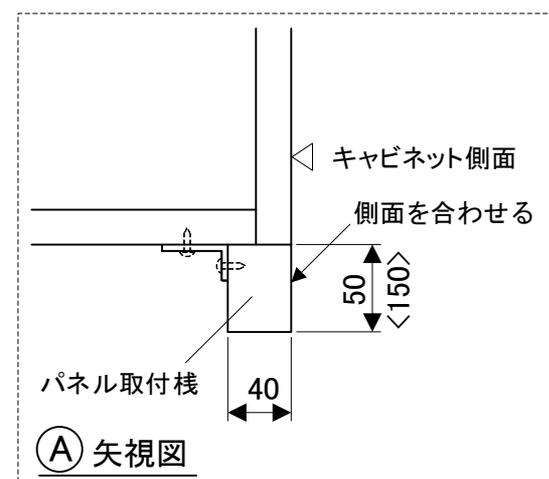
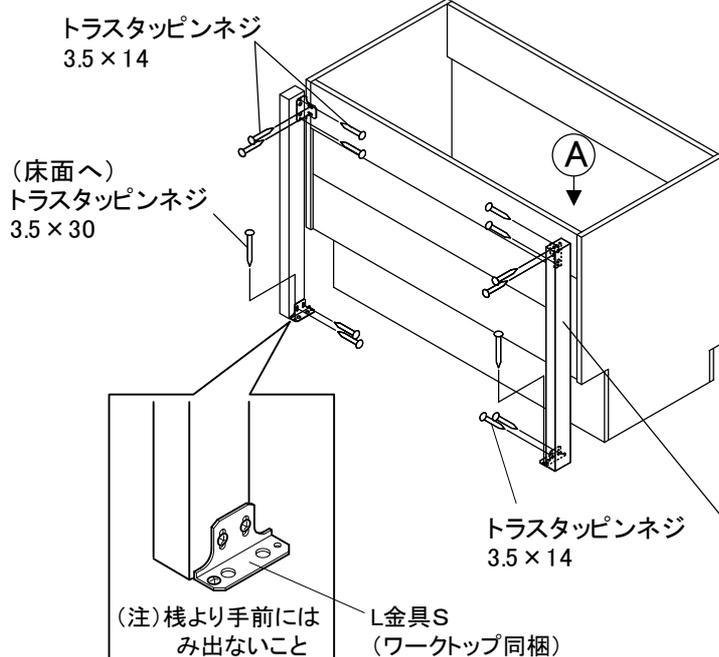
- ②棧をシンクキャビネットの側板背面に取付けてください。

ホーロー製キャビネットの場合



< >寸法は天板奥行90cmタイプの場合

木製キャビネットの場合



< >寸法は天板奥行90cmタイプの場合

取付位置に注意
A矢視図を参照

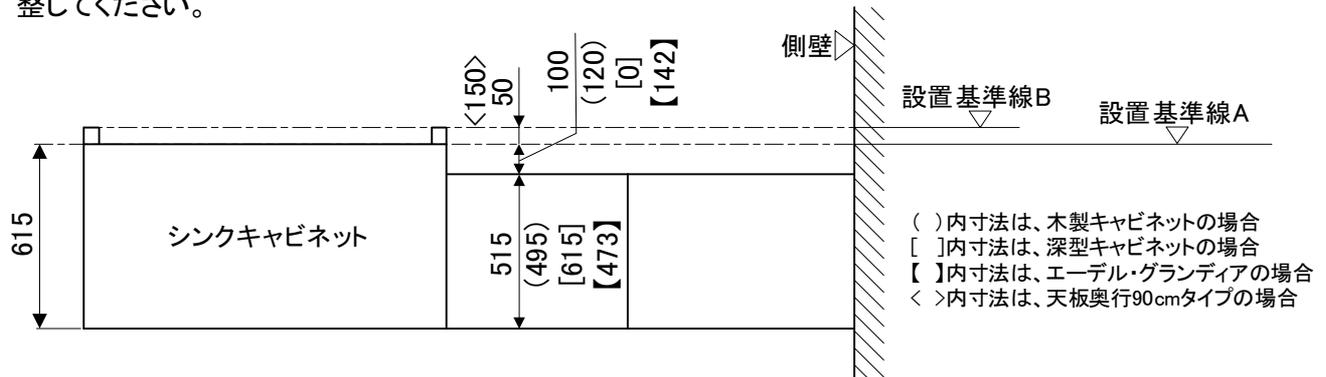
【3. 見切り対応フィラーの取付】(見切り対応フィラー取付の場合のみ)

見切り対応フィラー設置説明書を参照してください。

- 注) 1. 見切り対応用ワークトップを使用しますので、ワークトップへのフィラーの取付けは不要です。
2. バックパネル側のフィラーの取付はありません。

【4. キャビネットの仮置き・床面のレベル出し】

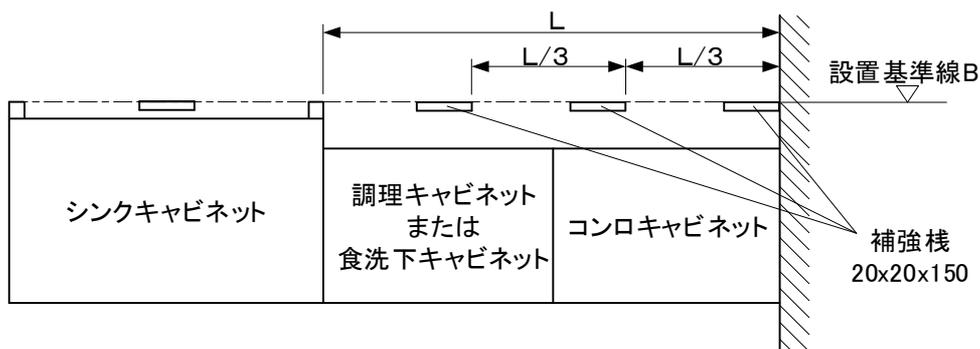
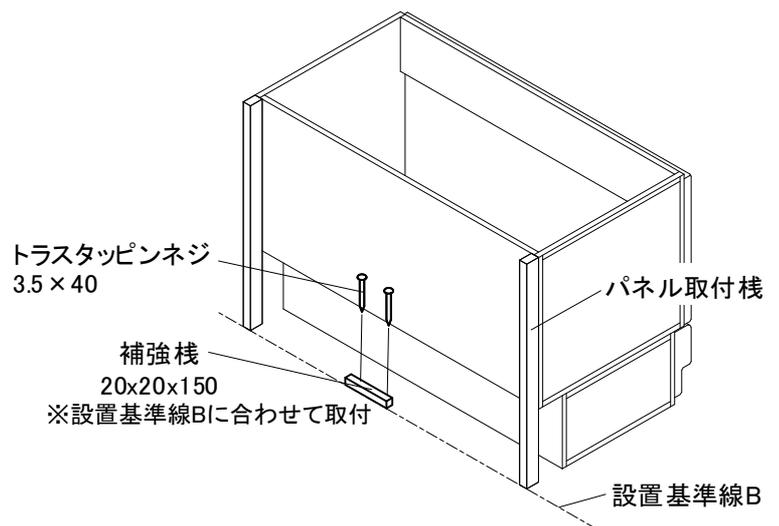
下図のように、設置基準線A・Bをそれぞれけがき、設置基準線を基準に側壁側からキャビネットを仮置きします。床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



【5. バックパネル振れ止め用補強棧の取付】

右図のように、バックパネル下地材の中に同梱している20mm角の棧を、シンクキャビネット後方の床面に取り付けてください。

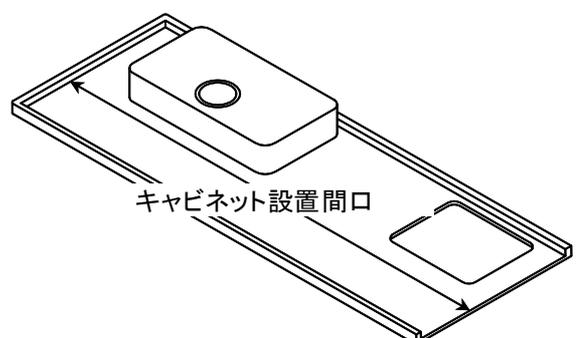
注) 20mm角の補強棧がバックパネル下地材の中に複数同梱されている場合は、下図のように、調理キャビネットやコンロキャビネットの後方の床面にも取付けてください。



【6. 間口調整用スペーサーの貼付】

(ホーロー製キャビネットの場合のみ)

仮置きしたキャビネットの間口を測定し、ワークトップ裏面のキャビネット設置間口に合わせてスペーサーU(t2.5mm)をキャビネットに貼付けます。貼付け方法は、シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネット設置前の準備作業」の項を参照してください。



4. ベースキャビネットの設置

【1. 90・75間口ガスキャビネットの組立て】(ホーロー製キャビネットの場合のみ)

シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネットの設置」の項を参照してください。

【2. 扉・引出しの取りはずし】

シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネットの設置」の頁を参照してください。

【3. キャビネットの連結】

キャビネットに付属の設置説明書を参照してください。

【4. キャビネットの床固定】

キャビネットに付属の設置説明書を参照してください。

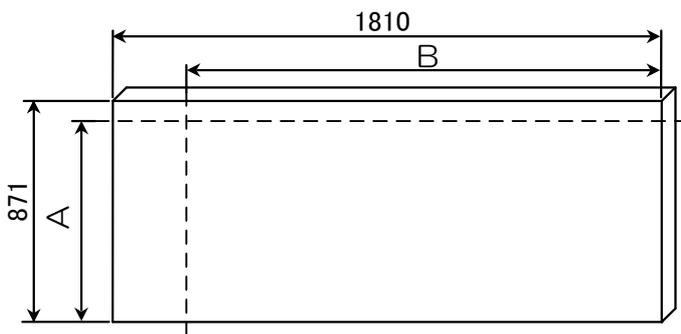
【5. ビルトインレンジの設置】

キャビネットの設置と同時に所定の位置に器具本体を設置してください。

【6. バックパネル下地の組立】

①バックパネル下地(素地ボードt15mm)を、それぞれ下記の寸法に加工してください。

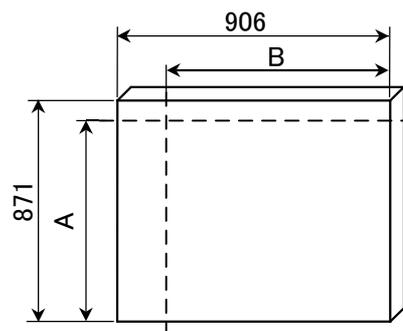
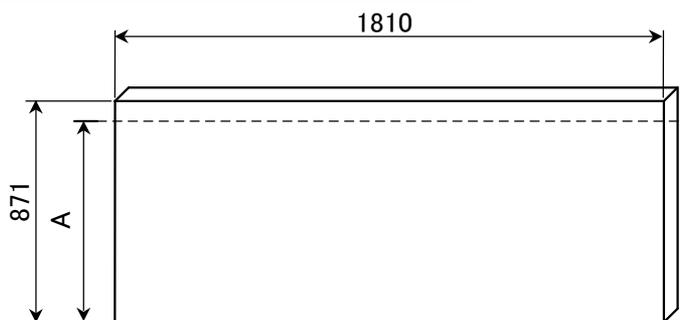
パネルが1枚の場合(間口1800以下)



ワークトップ高さ (mm)	A寸法 (mm)
820	791
850	821
900	871 (カット不要)

バックパネル間口	B寸法 (mm)
180cm	1800
165cm	1650
150cm	1500

パネルが2枚の場合(間口1950以上)



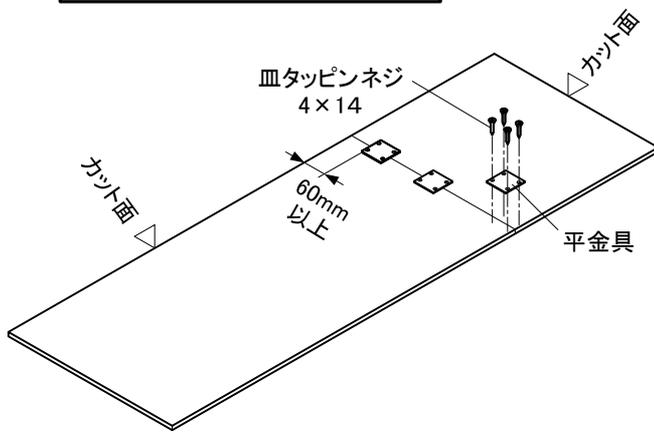
ワークトップ高さ (mm)	A寸法 (mm)
820	791
850	821
900	871 (カット不要)

セット間口 (cm)	B寸法(mm)	
	見切り対応フィラー	
	無し	有り
270	890	900
255	740	750
240	590	600
225	440	450
210	290	300

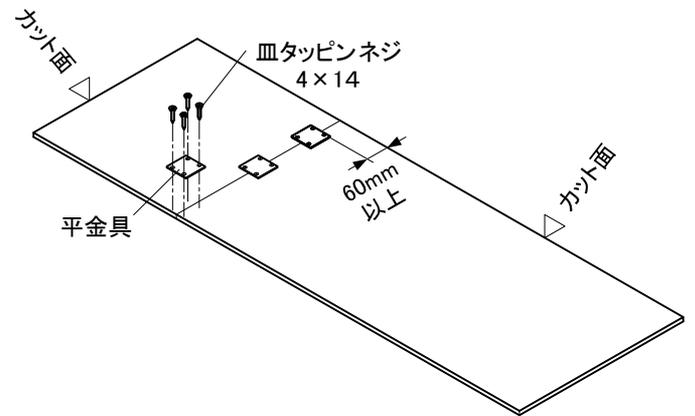
(注)木製扉タイプの場合、見切り対応フィラーは使用しません。

②(パネルが2枚の場合のみ)加工した2枚のパネルを、ワークトップ付属の平金具で連結してください。

ワークトップが左シンクの場合

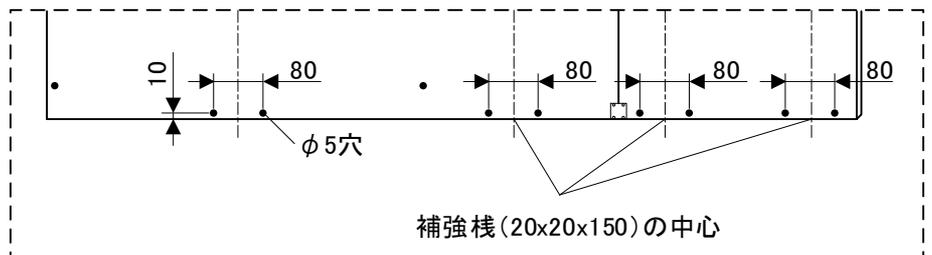
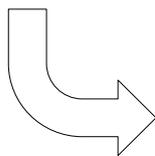
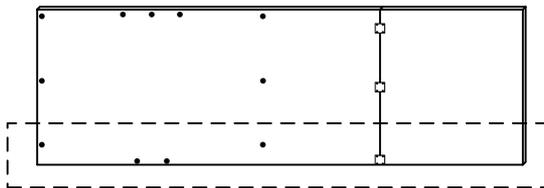


ワークトップが右シンクの場合



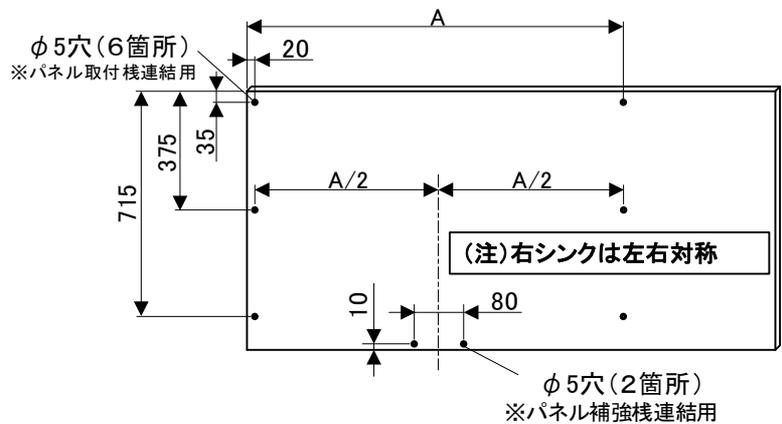
③連結したバックパネル下地の下図の位置に、φ5の穴加工をしてください。

注)図は左シンクの場合を示しています。右シンクの場合は左右対称に加工してください。
 注)20mm角の補強棧が複数同梱されている場合は、6頁【5】の補強棧の位置に合わせてパネル下部にφ5穴を追加してください。

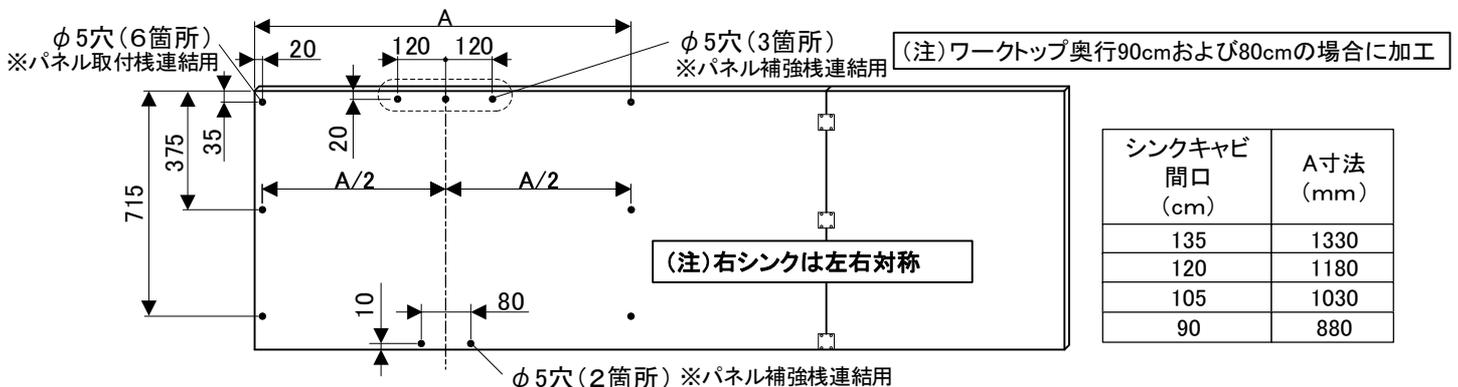


パネルが1枚の場合 (間口1800以下)

シンクキャビ 間口 (cm)	A寸法 (mm)
135	1330
120	1180
105	1030
90	880



パネルが2枚の場合 (間口1950以上)

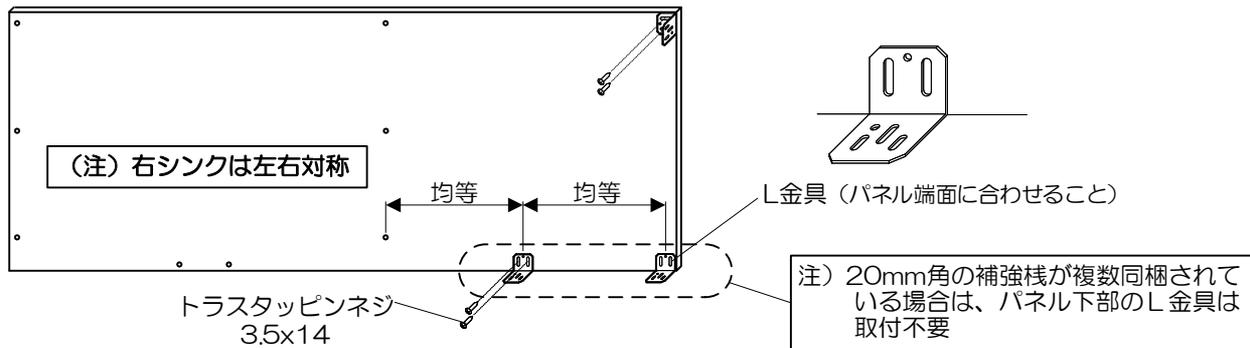


シンクキャビ 間口 (cm)	A寸法 (mm)
135	1330
120	1180
105	1030
90	880

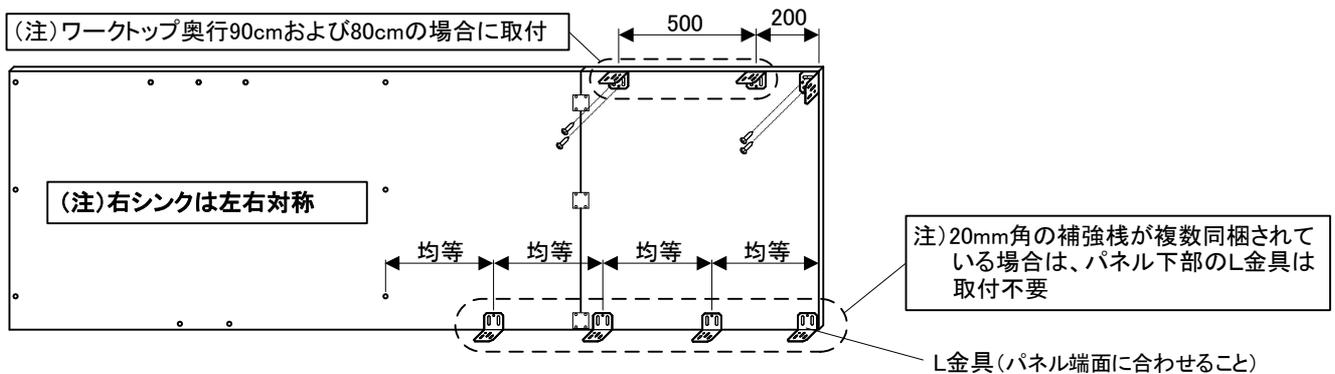
④バックパネル下地に、ワークトップ付属のL金具を下図の位置に取付けてください。

注) 下図はワークトップが左シンクの場合です。右シンクの場合は、左右対称に取付けてください。

パネルが1枚の場合 (間口1950以上)



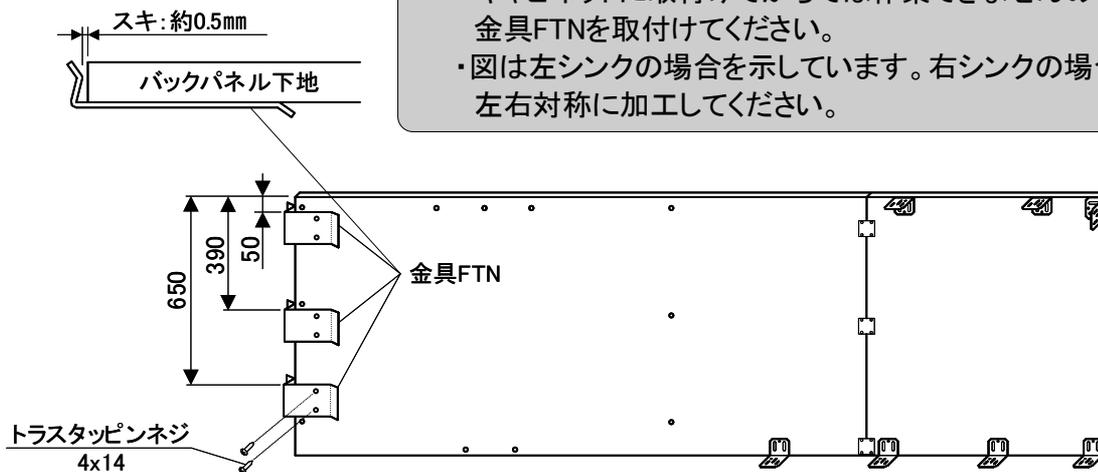
パネルが2枚の場合 (間口1950以上)



⑤ホーロー製キャビネットの場合)

連結したバックパネル下地に、エンドパネルに付属の金具FTNを下図の位置に取付けてください。

注)・金具FTNはエンドパネルに同梱しています。バックパネル下地をキャビネットに取付けてからでは作業できませんので、必ず先に金具FTNを取付けてください。
・図は左シンクの場合を示しています。右シンクの場合は、図と左右対称に加工してください。

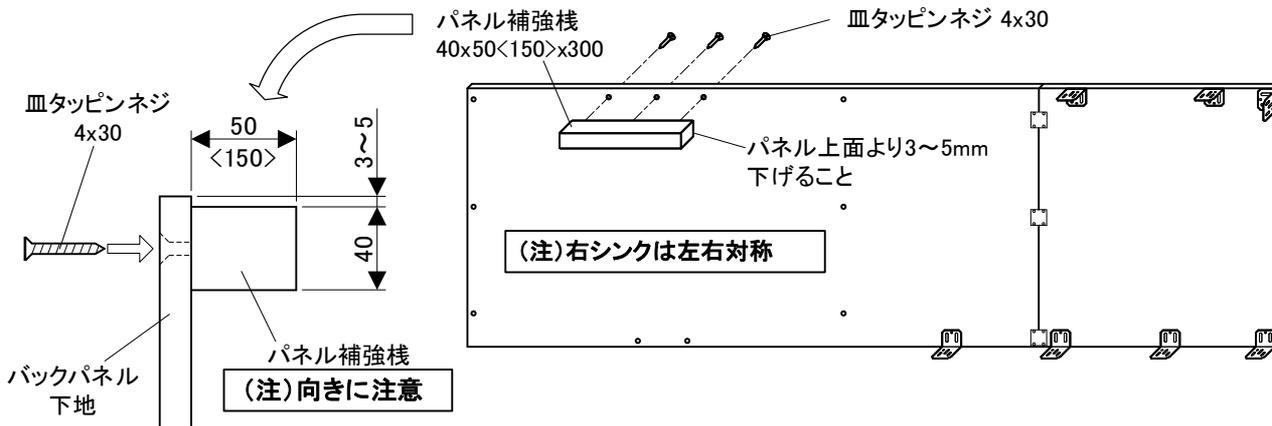
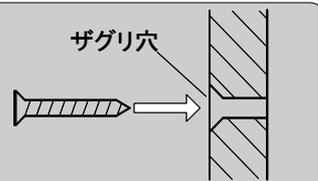


⑥ワークトップ奥行90cmおよび80cmの場合

パネル補強棧(L=300)を、バックパネル下地裏面の下図の位置にワークトップ付属のネジで固定してください。

注)図は左シンクの場合を示しています。右シンクの場合は左右対称に加工してください。

注)ネジ頭がパネル表面より出ないように、あらかじめネジ穴に皿ザグリ加工をしてからネジ打ちしてください。



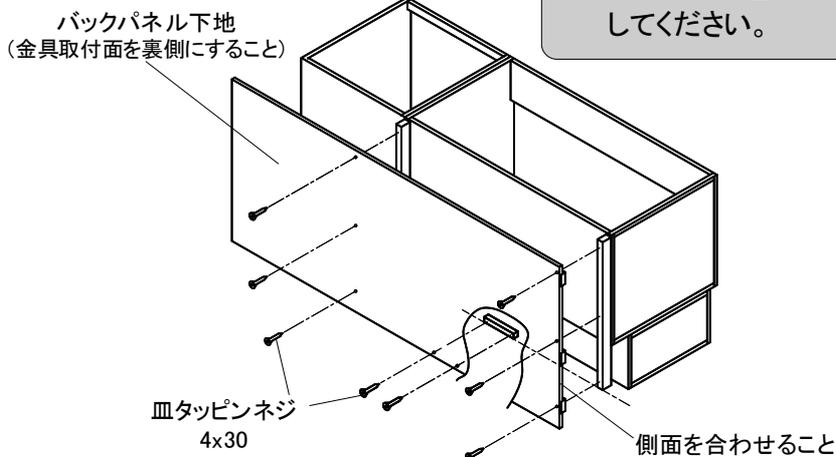
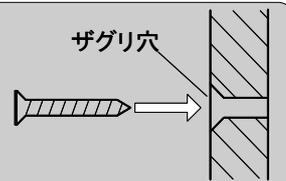
< >寸法は天板奥行90cmタイプの場合

【7. バックパネル下地の取付】

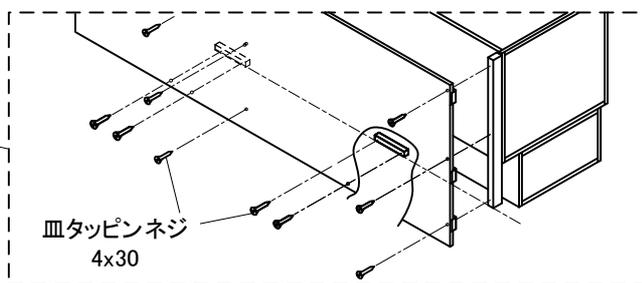
①バックパネル下地を、シンクキャビネット背面の棧に、ワークトップ付属のネジで固定してください。

パネルが1枚の場合 (間口1800以下)

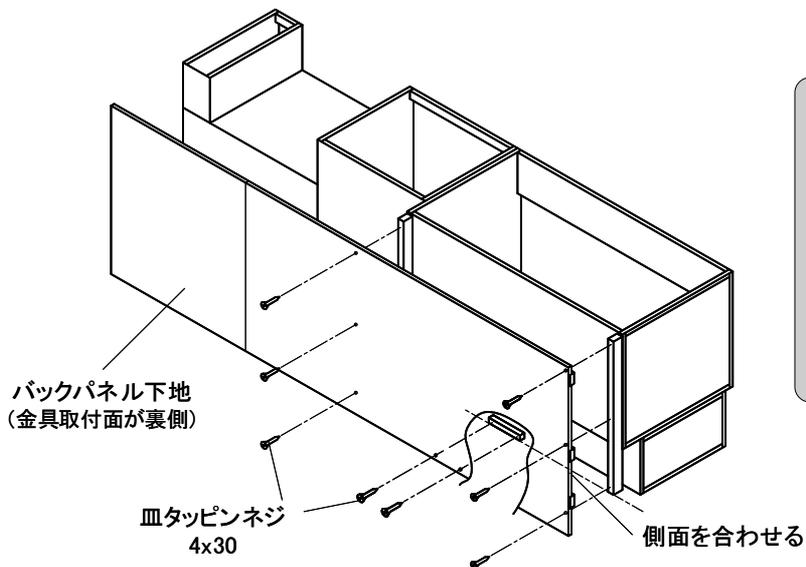
注)ネジ頭がパネル表面より出ないように、あらかじめネジ穴に皿ザグリ加工をしてからネジ打ちしてください。



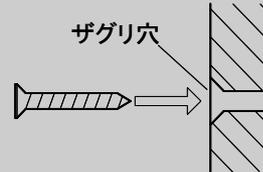
注)20mm角の補強棧が複数同梱されている場合は、各補強棧にネジで固定



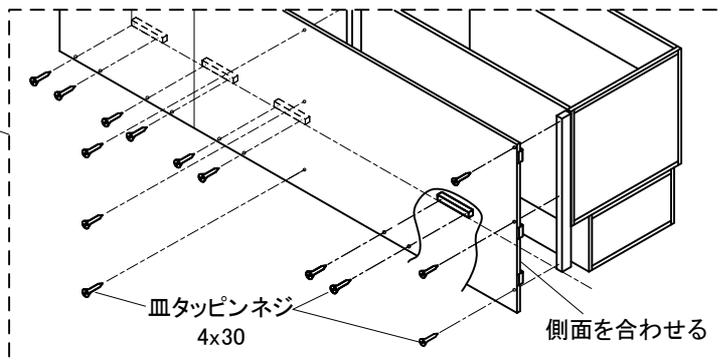
パネルが2枚の場合 (間口1950以上)



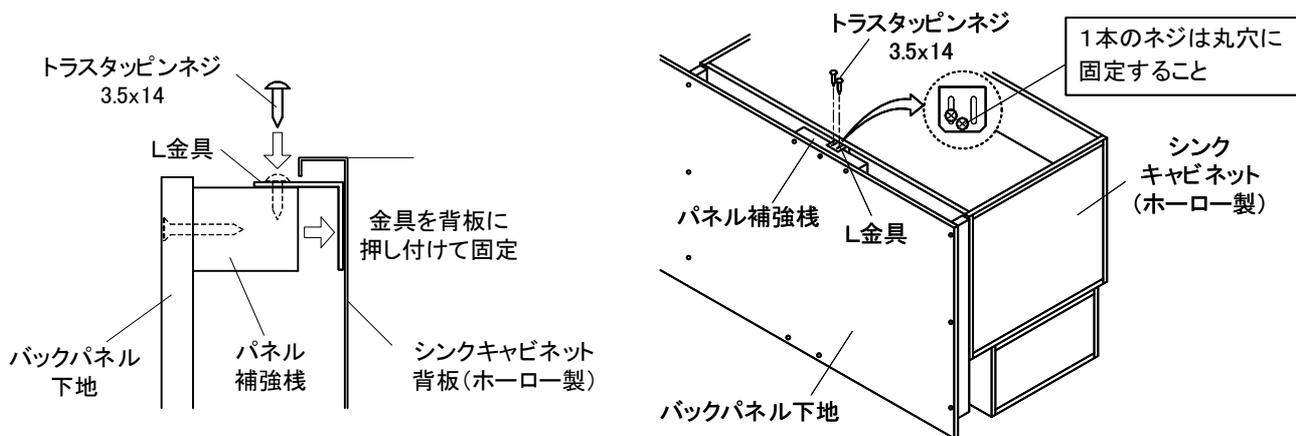
注) ネジ頭がパネル表面より出ないように、あらかじめネジ穴に皿ザグリ加工をしてからネジ打ちしてください。



注) 20mm角の補強棧が複数同梱されている場合は、各補強棧にネジで固定

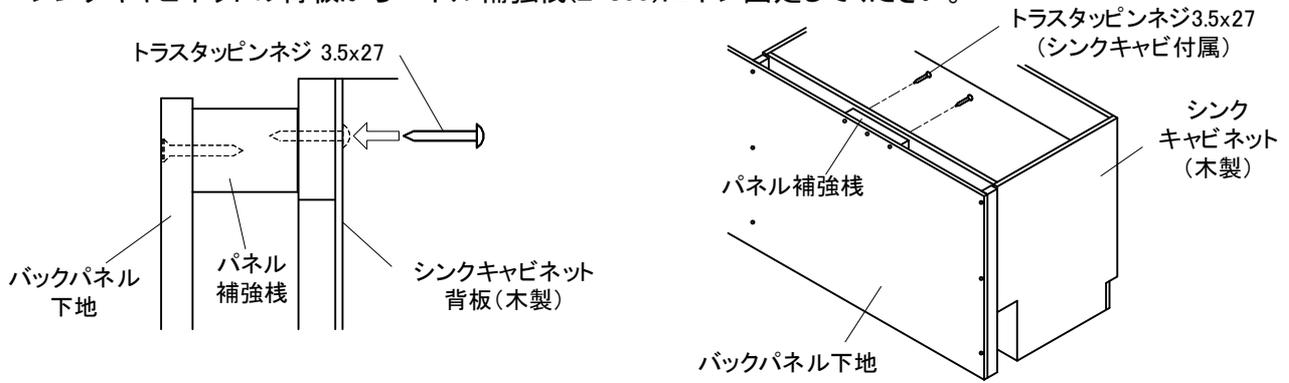


(②ワークトップ奥行90cmおよび80cmで、ホーロー製キャビネットの場合)
パネル補強棧(L=300)の中央にL金具を取付けてください。



③ワークトップ奥行90cmおよび80cmで、木製キャビネットの場合)

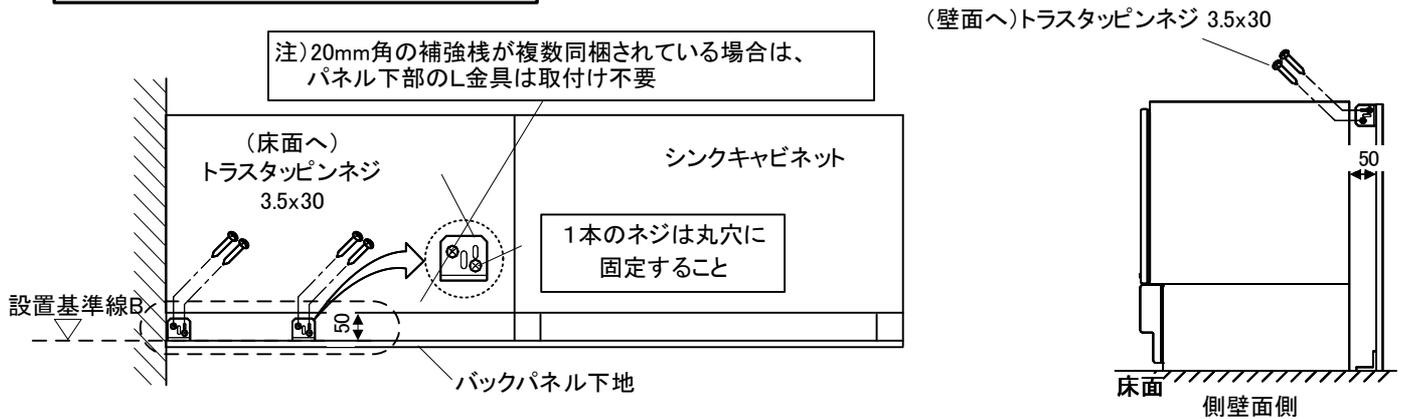
シンクキャビネットの背板からパネル補強棧(L=300)にネジ固定してください。



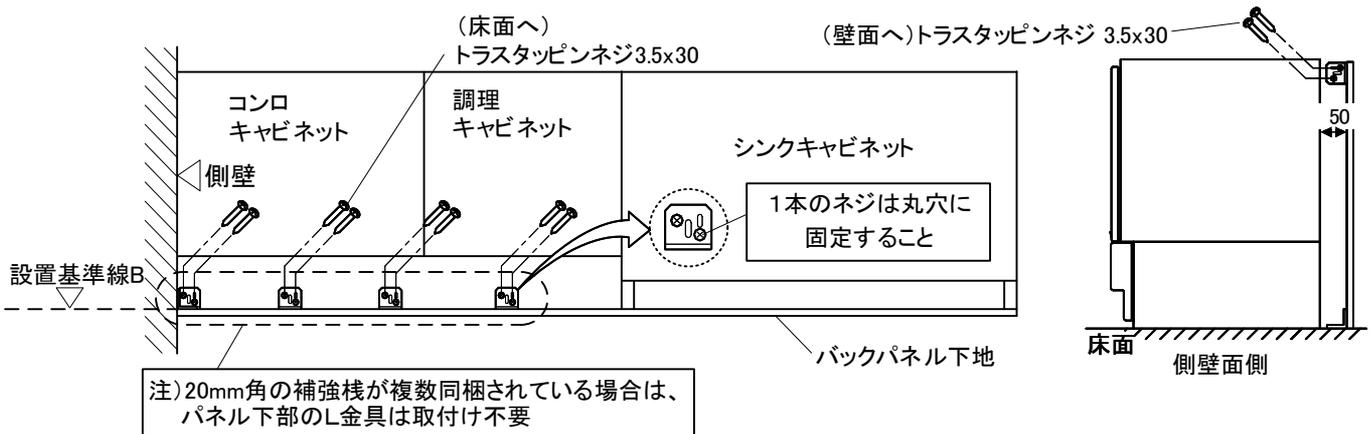
④バックパネル下地の内側を設置基準線Bに合わせて、パネルに取付けたL金具より側壁面・床面にワークトップ付属のネジで固定してください。(20mm角の補強棧が複数同梱されている場合は固定不要)

※深型の調理・コンロキャビネットの場合は、キャビネットの連結ボルト/ビスを一旦はずし、キャビネットを前に移動させて作業スペースを確保してください。(20mm角の補強棧が複数同梱されている場合は移動不要)

パネルが1枚の場合(間口1800以下)



パネルが2枚の場合(間口1950以上)



【8. ホーロー製バックパネルの取付】

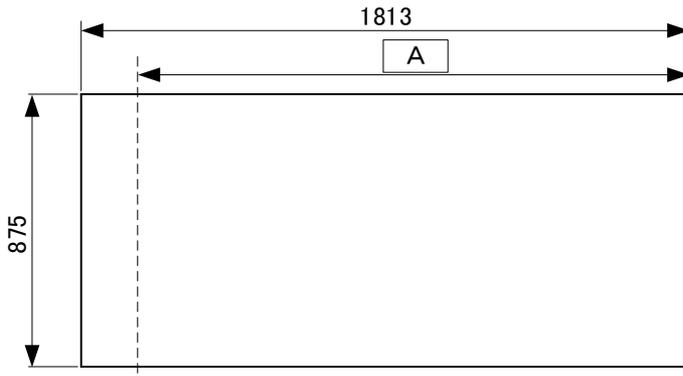
①バックパネル(ホーローパネル)の間口を下記の寸法にカットしてください。

注)切断には必ず専用刃物(KPカッター)を用いてください。

上記以外の工具で加工しますとホーローに大きいダメージが発生するおそれがあります。

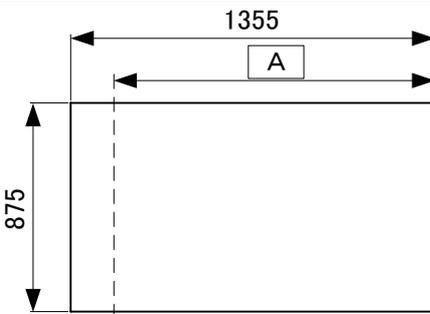
※バックパネルに設置説明書が入っている場合は、その指示にしたがって切断してください。

パネルが1枚の場合(間口1800以下)



バックパネル 間口(mm)	A寸法 (mm)
1800	1797
1650	1647
1500	1497
1350	1347
1200	1197

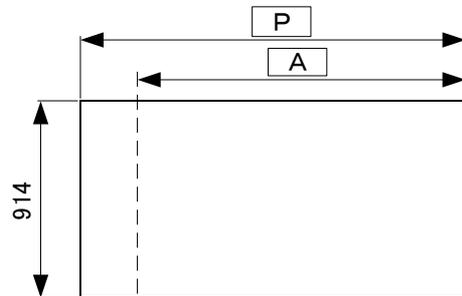
パネルが2枚の場合(間口1950以上)



2枚のバックパネルを下記の寸法にカットしてください。

セット 間口	A寸法(mm)			
	見切り対応フィルター無し		見切り対応フィルターあり	
	1枚目	2枚目	1枚目	2枚目
270	1347	1枚目と同じ	1349	1355
255	1272		1277	1枚目と同じ
240	1197		1202	
225	1122		1127	
210	1047		1052	

※キッチンパネル(HZF-***をバックパネルとして使用する場合



2枚のバックパネルを下記の寸法にカットしてください。

セット 間口	P寸法(mm) 切断前	A寸法(mm) 切断後	
		1枚目	2枚目
270	1349	1349	1345
255	1349、1199	1349	1195
240	1199	1199	1195

②バックパネルの高さを下記の寸法にカットしてください。(P-BB270の場合は2枚ともにカットしてください)



※<>内寸法はHZF-***の場合

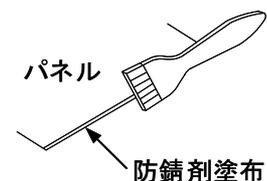
ワークトップ 高さ (mm)	B寸法(mm)	
	ワークトップ奥行	
	90cm・80cm	104.5cm
820	785	700
850	815	730
900	865	780

(注)設置するワークトップの奥行寸法によってカット寸法が変わるので、必ずワークトップの奥行を確認した上で、必要なサイズにカットしてください。

注)転写柄付きでバックパネルに設置説明書が付属していない場合は、転写柄と反対側をカットしてください。

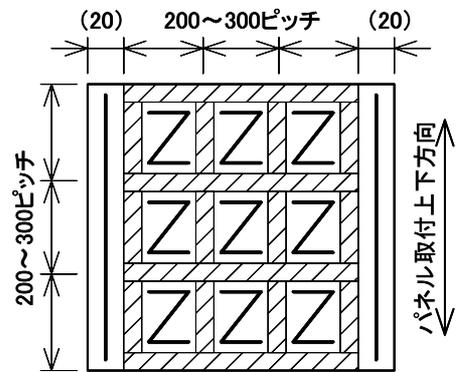
③切断したバックパネルのカット面に対し防錆剤を塗布してください。

- カット面にバリがある場合、ヤスリで仕上げてください。
- カット面が油等で汚れている場合、よくふき取ってください。
- 必ず専用防錆剤(KP防錆剤)を使用してください。
- 防錆剤は防錆成分が沈殿していますので、使用の際にはよく攪拌してお使いください。
- 塗布は塗りムラの無いよう行ってください。



④貼付面(バックパネル裏面)のほこり等をふき取って、所定位置に専用両面テープを貼付して、テープ離型紙の上からよく押さえつけ確実に貼付してください。

- 注) ●テープ貼付ピッチは約200~300mmとしてください。
- 外周部はパネル端部より20mm程度ひかえて貼付してください。

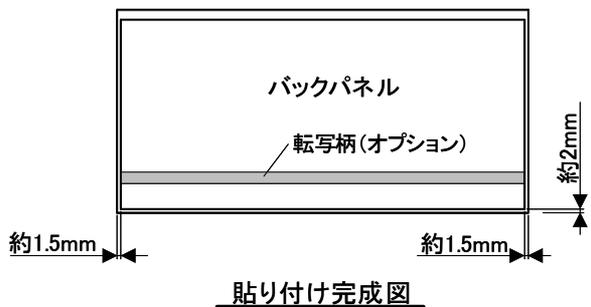
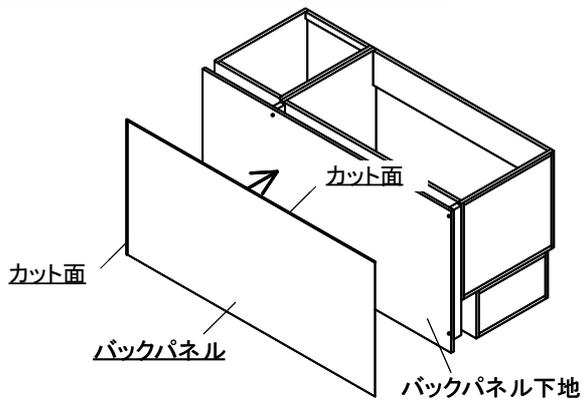


⑤パネル裏面の所定位置に専用接着剤を塗布してください。

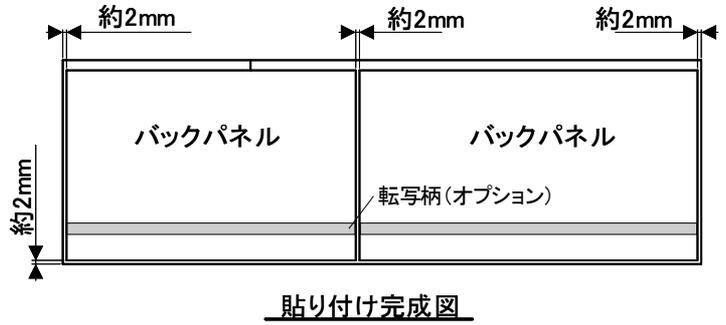
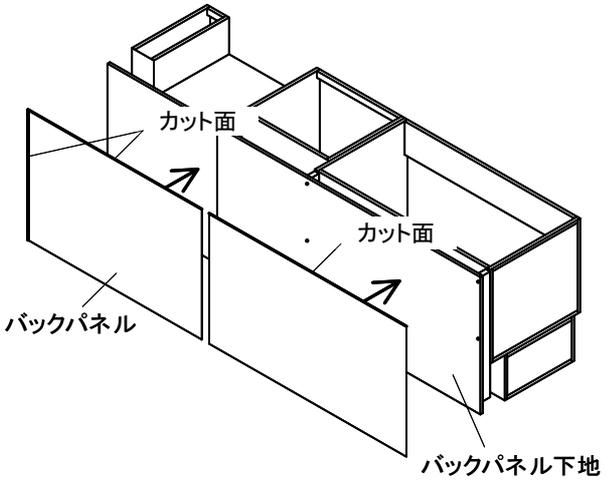
- 注) ●標準塗布量は1m当り約20mlです。(接着剤太さ約5mm程度)
- 図に示す外周部の塗布を必ず行なってください。
- 塗布後15分以内にパネル取付を行なってください。

⑥バックパネル下地表面のほこり等をふき取り、④で貼付した両面テープの離型紙をはがし、下図を参照してパネルをバックパネル下地に貼付けてください。

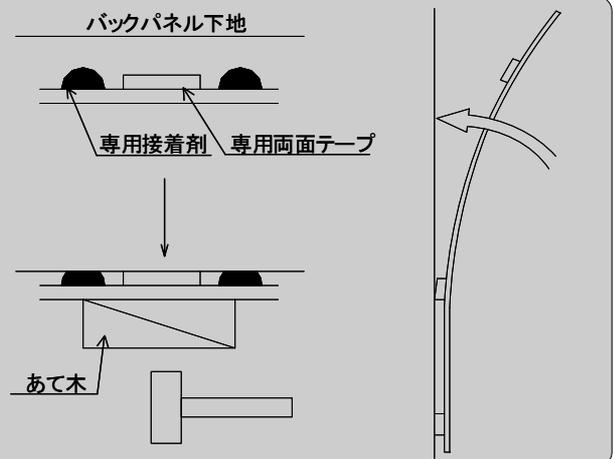
パネルが1枚の場合 (間口1800以下)



パネルが2枚の場合 (間口1950以上)

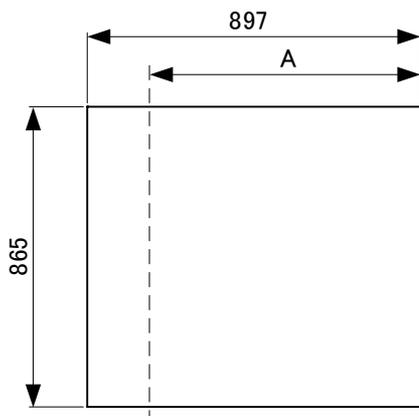


- 注) ●取付は両面テープの位置を手の平もしくはあて木で押さえて行ってください。
- パネル端部よりしごきあげるような状態で順次下地に押し付け取付けてください。
- 下地の継目部分は押えすぎに注意してください。腰折れしてしまう場合があります。



【9. 木製バックパネルの取付】

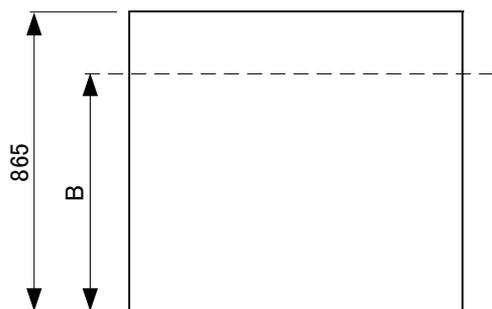
①バックパネル3枚を下記の寸法にカットしてください。



注)『オフェリア』の場合、またはセット間口270cmの場合はカット不要です。

セット間口	A寸法 (mm)
270cm	897 (カット不要)
255cm	847
240cm	797
225cm	747
210cm	697

②バックパネルを下記の寸法にカットしてください。



注)『オフェリア』の場合、またはワークトップ高さ90cmの場合はカット不要です。

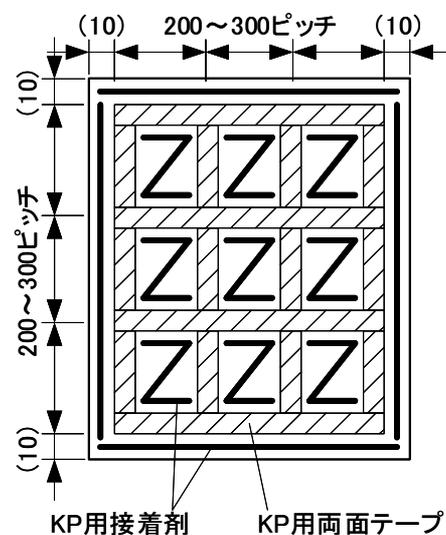
ワークトップ高さ (mm)	B寸法 (mm)
820	785
850	815
900	865 (カット不要)

③貼付面(パネル裏面)のほこり等をふき取って、所定位置にキッチンパネル用両面テープを貼付して、テープ離型紙の上からよく押さえつけ確実に貼付してください。

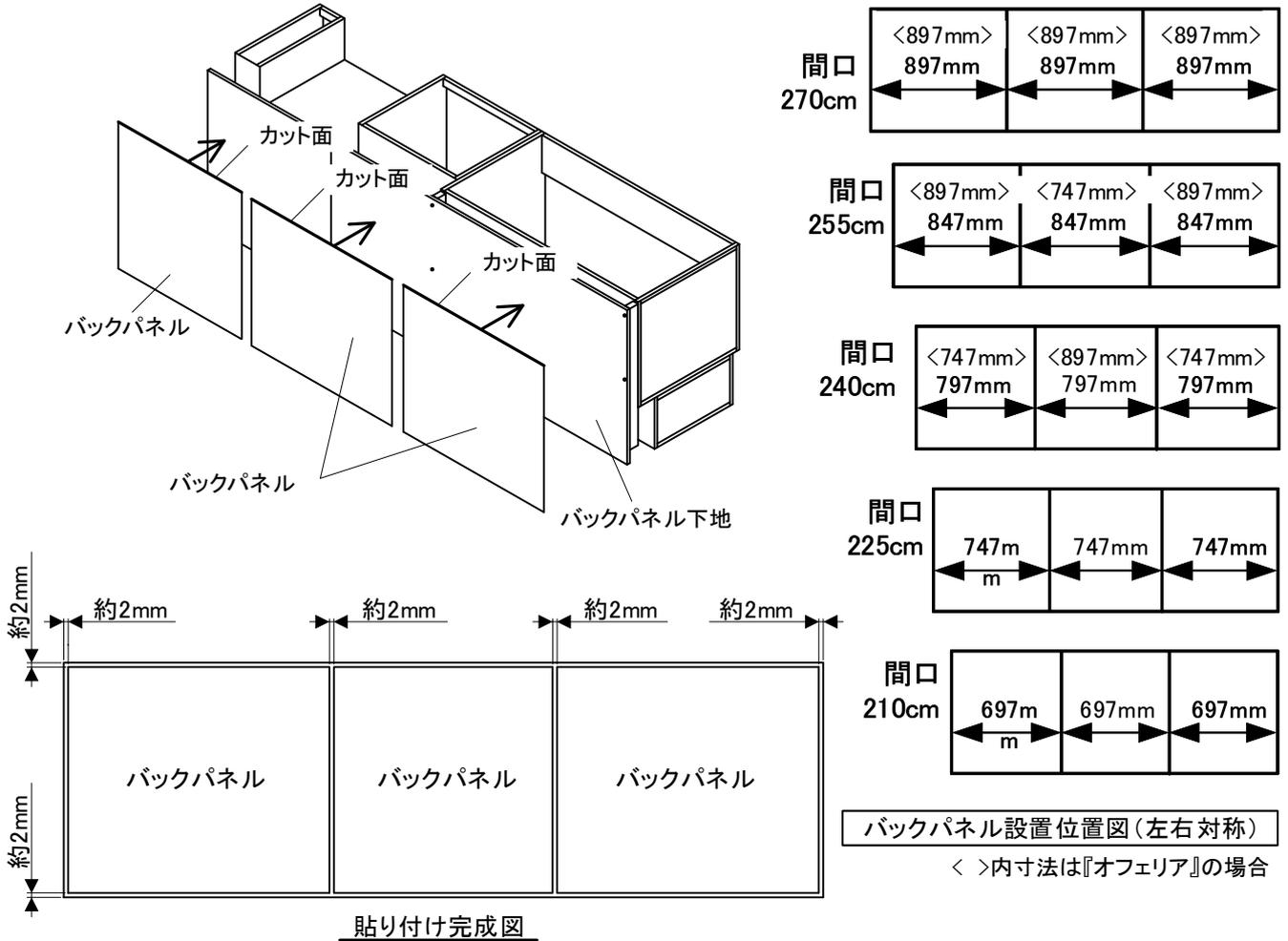
- 注) ●テープ貼付ピッチは約200~300mmとしてください。
●外周部はパネル端部より10mm程度ひかえて貼付してください。

④パネル裏面の所定位置にキッチンパネル用接着剤を塗布してください。

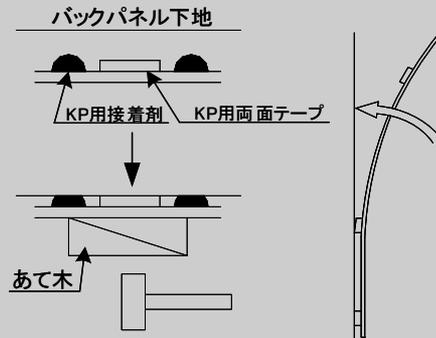
- 注) ●標準塗布量は1m当り約20mlです。(接着剤太さ約5mm程度)
●図に示す外周部の塗布を必ず行なってください。
●塗布後15分以内にパネル取付を行なってください。



⑤バックパネル下地表面のほこり等をふき取り、③で貼付した両面テープの離型紙をはがし、下図を参照してパネルをバックパネル下地に貼付けてください。



- 注) ● 取付は両面テープの位置を手の平もしくはあて木で押さえて行ってください。
● パネル端部よりしごきあげる様な状態で順次下地に押し付け取付けてください。



5. 水栓の取付

【1. 水栓穴の加工】

水栓穴の加工方法は、シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ベースキャビネットの設置」の項を参照してください。

【2. 水栓の取付】

水栓およびオプション水栓(アルカリ整水器・浄水器専用水栓)はそれぞれに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

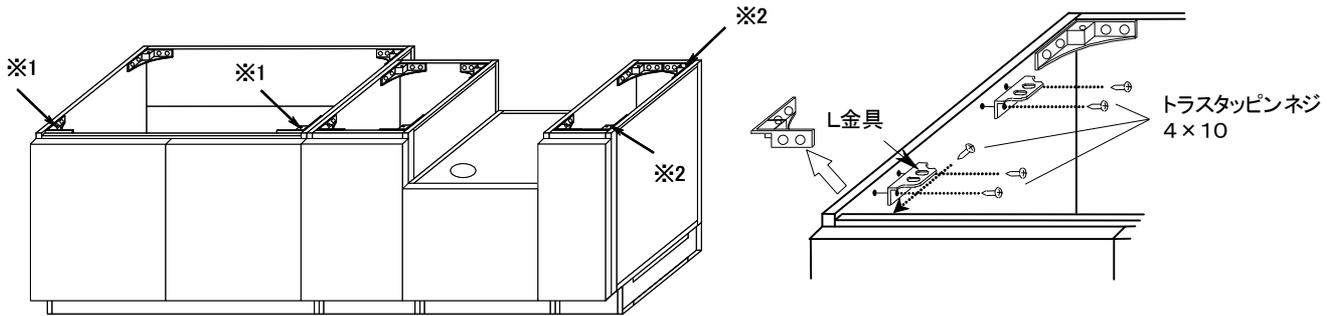
6. ワークトップの設置

【1.ワークトップ設置前の準備】

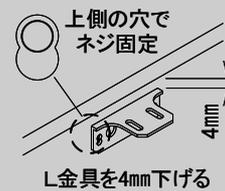
①ホーロー製キャビネットの場合のみ

シンクキャビネットの前左右(図※1)の隅補強をはずしてください。

シンクキャビネットのセット端側に、ワークトップ付属のL金具を取付けてください。

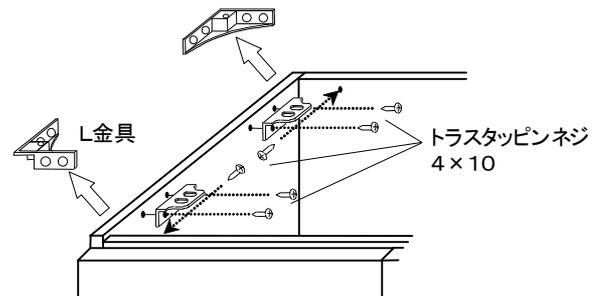


注)天板固定金具の固定穴は、ダルマ穴になっています。天板固定金具がキャビネット上面より4mm下がるように上側の穴で固定してください。



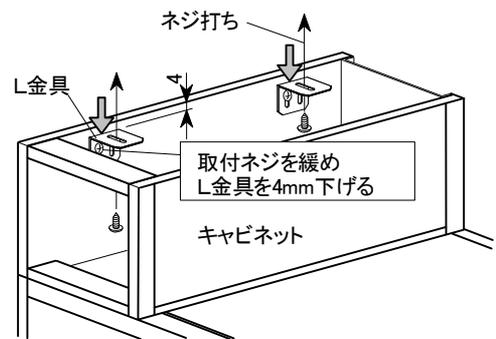
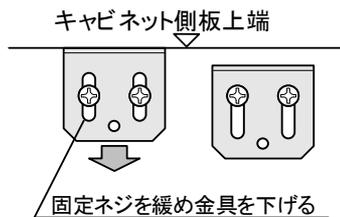
②ホーロー製キャビネットの場合のみ

調理キャビネットがセット端にくる場合は、セット端側の隅補強2個(上図※2)をはずして、ワークトップに付属のL金具に付け替えてください。



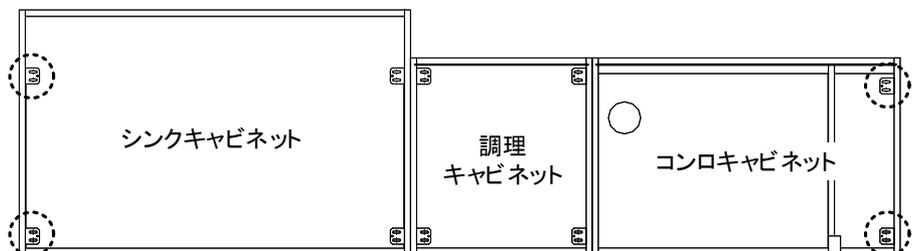
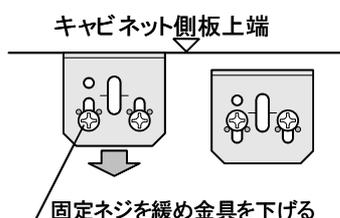
③ホーロー製キャビネットの場合のみ

75間口コンロキャビネットがセット端にくる場合は、L金具の取付ネジをゆるめてL金具を4mm下方へずらし再度取付ネジを締め込んでください。

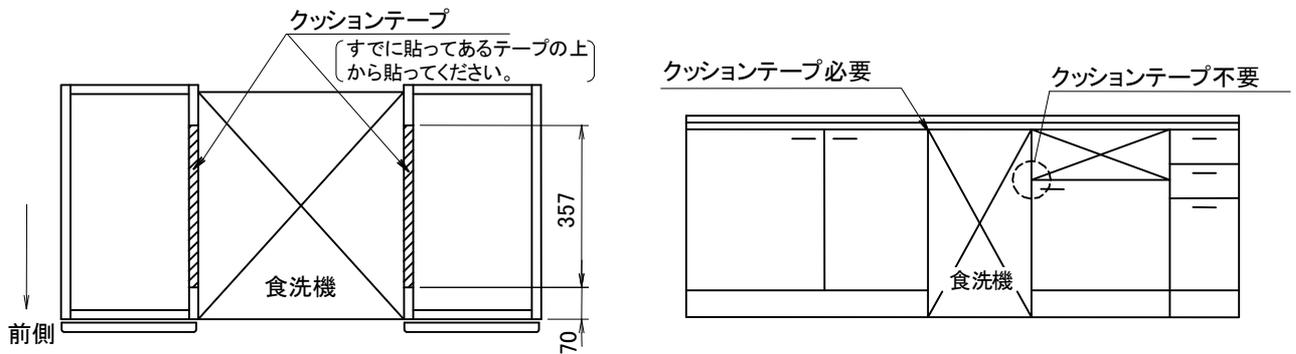


④木製キャビネットの場合のみ

セット両端のL金具の取付ネジをゆるめてL金具を下方へずらし再度取付ネジを締め込んでください。



- ⑤食洗機に隣接するキャビネットの側板上面所定の位置にクッションテープを貼り付けてください。
(ただしコンロキャビネットの場合は不要)



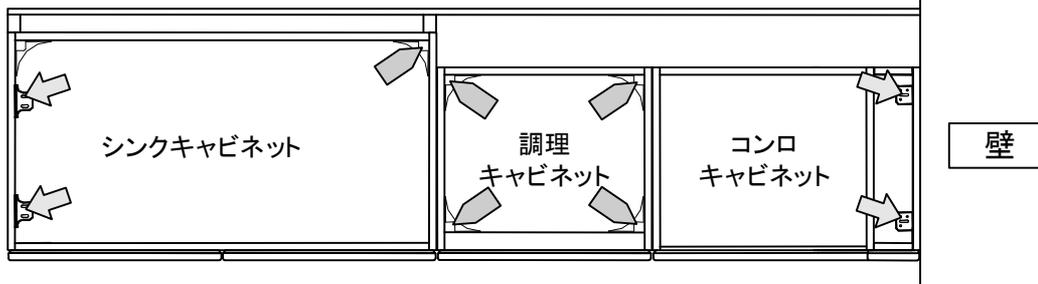
【2.ワークトップの設置】

ホーロー製キャビネットの場合

- ①隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

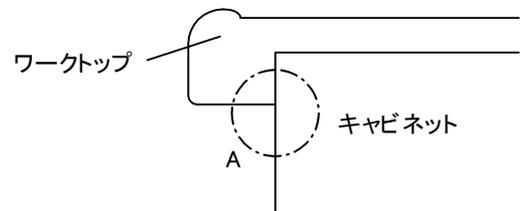
(例) ... ネジ固定位置

... シリコン塗布位置



- ②ワークトップをキャビネットにのせ、キャビネット前部とワークトップ前下り部との間(A部)にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

- 注) ●キャビネットに乗せる際に、シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。
●ワークトップ裏面の化粧裏貼材とキャビネットが干渉していないか、必ず確認してください。

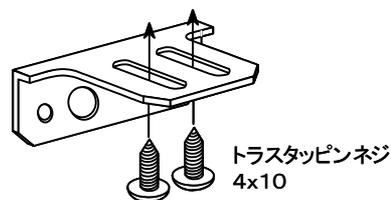


- ③天板補強棧の取付(コンロと食洗機が隣接する場合のみ)

シンクキャビネットに付属の『システムキッチン設置説明書』を参照してください。

- ④ワークトップ設置前の準備で取付けたL金具より、ワークトップをネジで固定してください。

- 注) ●L金具の長穴のセンター付近にネジを打ってください。
●ワークトップ上におもりを置いてシリコンが硬化するまで1日放置してください。

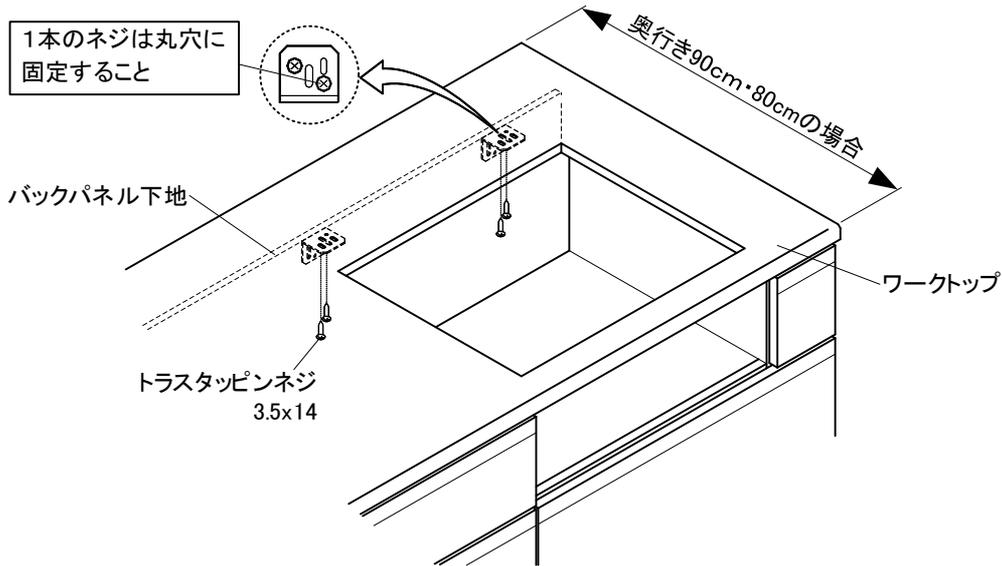


木製キャビネットの場合

シンクキャビネットに付属の設置説明書の「ワークトップの設置」の頁を参照してください。

(⑤ワークトップ奥行き90cm・80cmの場合)

バックパネル下地裏面に取付けたL金具(コンロ側)よりワークトップに付属のネジで固定してください。



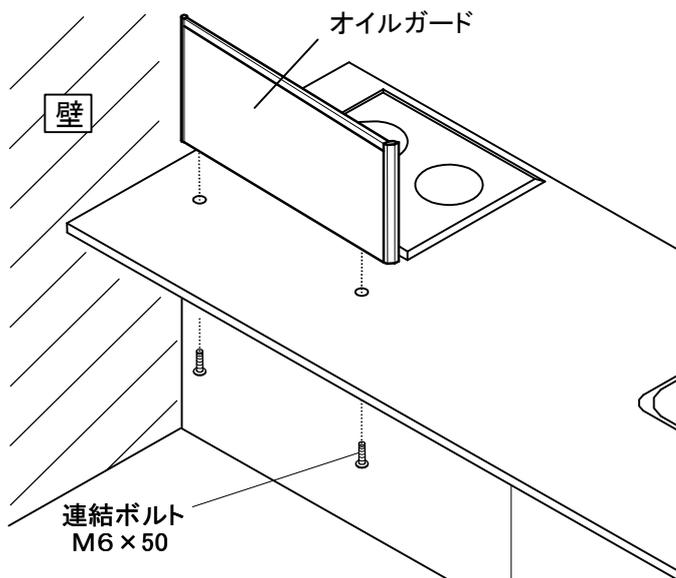
7. オプション品の取付(オプション選択している場合のみ)

【1. オイルガード(ホーロー製)を設置する場合】

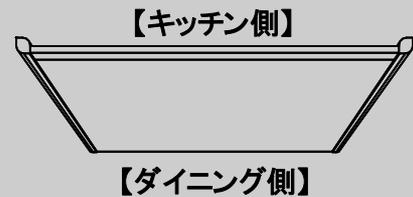
①ワークトップの所定の位置にφ9の貫通穴を加工してください。

	ワークトップ 奥行	A寸法
ワイド対面	104.5cm	305
ミドル対面	90cm	160
スリム対面	80cm	50

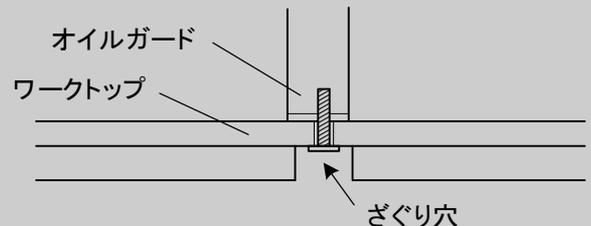
②オイルガードを所定の位置に設置し、リビング側のワークトップ裏面より付属のボルトで固定してください。



注) オイルガードの向きに注意してください。(図は上から見た状態)

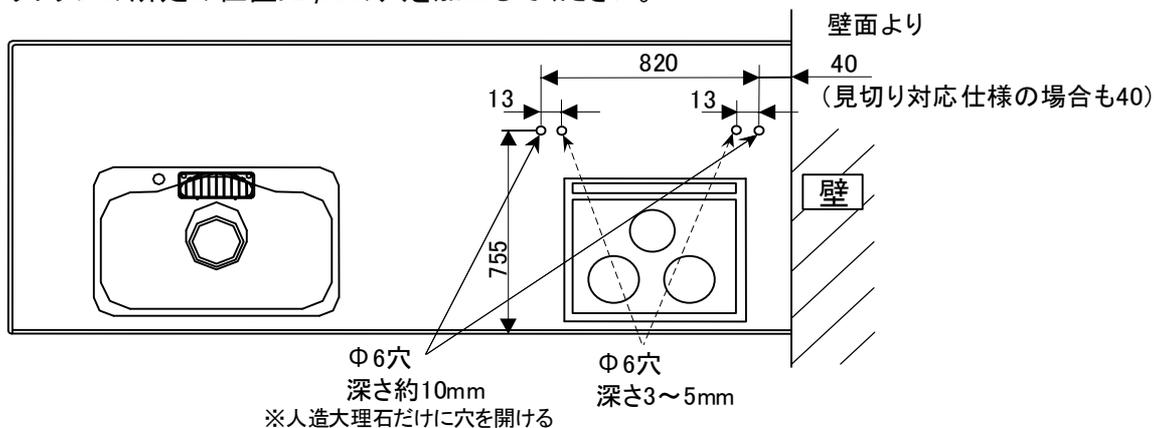


注) ワイド対面の場合、ボルトの頭はワークトップ裏面のざぐり穴の中まで締めてください。



【2. ハイタイプオイルガードを設置する場合】

①ワークトップの所定の位置にφ6の穴を加工してください。

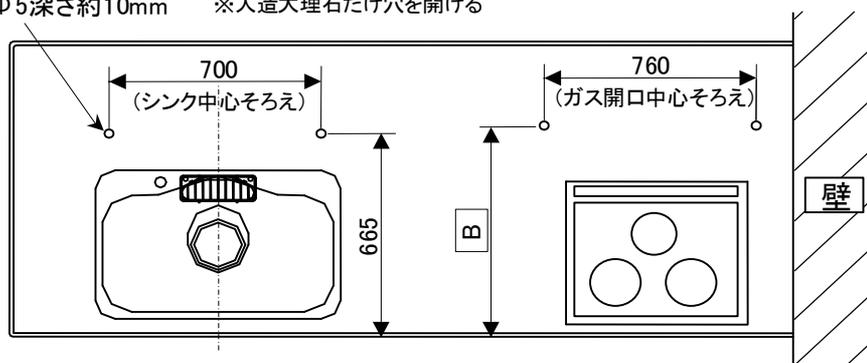


②ハイタイプオイルガードに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

【3. シンク・コンロ前スクリーンを設置する場合】

①ワークトップの所定の位置にφ5の穴を加工してください。

φ5深さ約10mm ※人造大理石だけ穴を開ける



	天板 奥行	B寸法
ワイド対面	104.5cm	740
ミドル対面	90cm	740
スリム対面	80cm	750

②シンク・コンロ前スクリーンに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

8. エンドパネルの取付

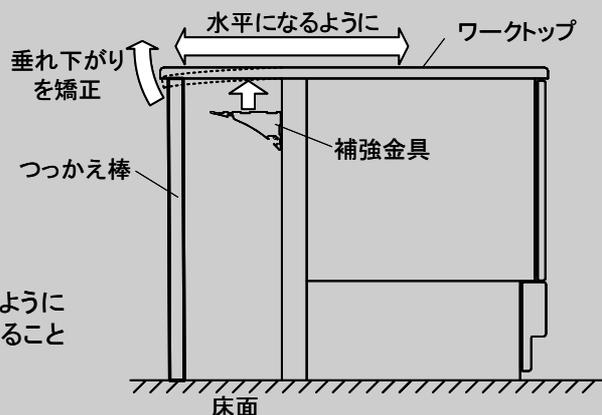
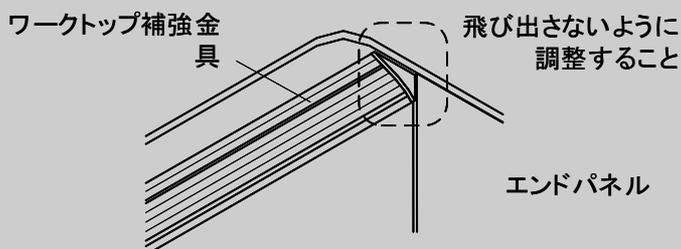
シンクキャビネットまたはエンドパネル本体に付属のエンドパネル設置説明書にしたがって取付けてください。

9. ワークトップ補強金具の取付(ワイド対面の場合のみ)

ワークトップ補強金具に付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

注) ●ワークトップの先端部と床との間につっかえ棒などを入れて、垂れ下がりを矯正した上で、補強金具を取付けてください。

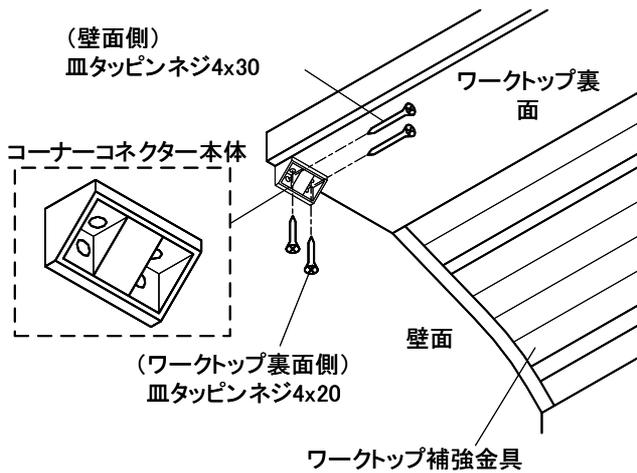
●ワークトップ補強金具はエンドパネルにかぶるようにしてください。ただし、飛び出さないように2mm程度控えるように調整してください。



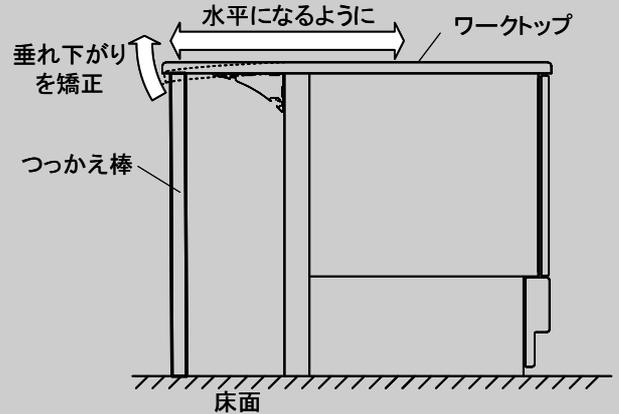
10. コーナーコネクターの取付

【1. 本体の取付】

下図のように、ワークトップに付属のコーナーコネクタ本体を、ワークトップ裏面の壁面側の先端部に所定のネジで取付けてください。

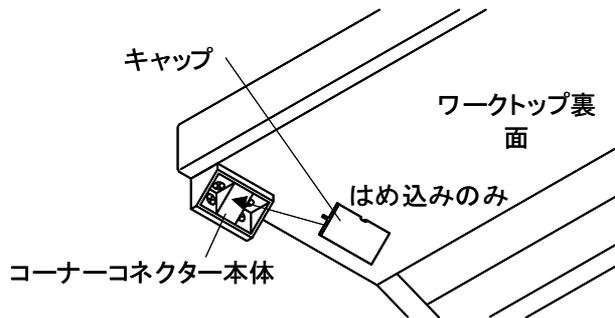


注) ●ネジの取付に、インパクトドライバーを使用しないでください。また、ネジの締め過ぎには注意してください。
(コーナーコネクタが破損するおそれがあります)
●ワークトップの先端部と床との間につかえ棒を入れて、垂れ下がりを矯正した上で、コーナーコネクタを取付けてください。



【2. キャップの取付】

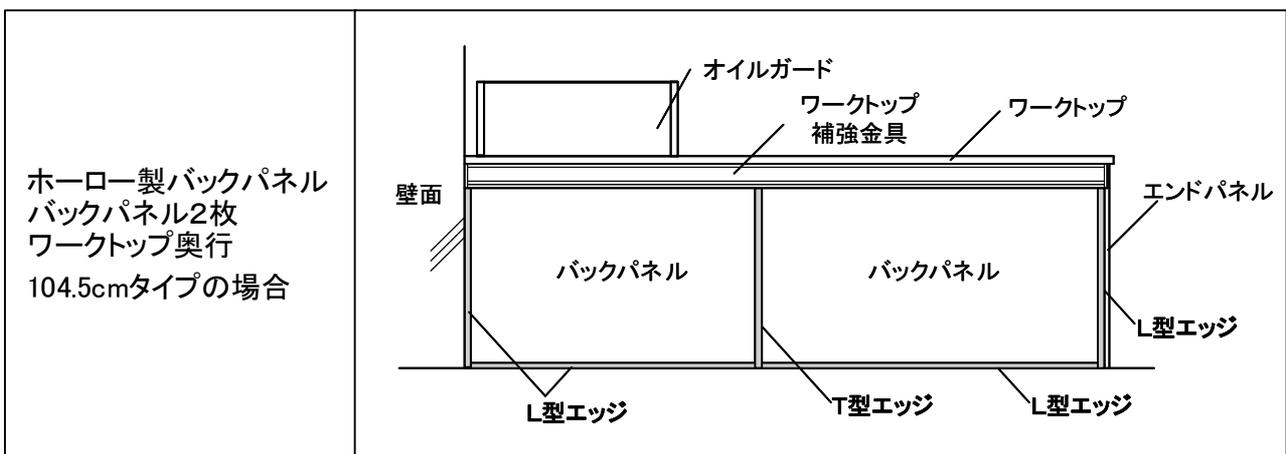
本体に付属のキャップを取付けてください。

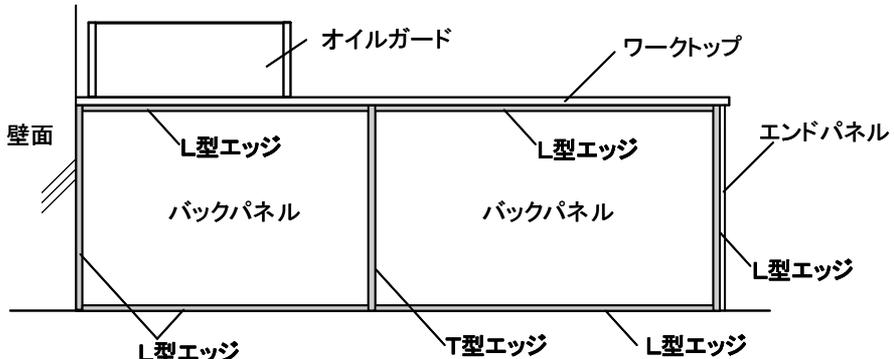
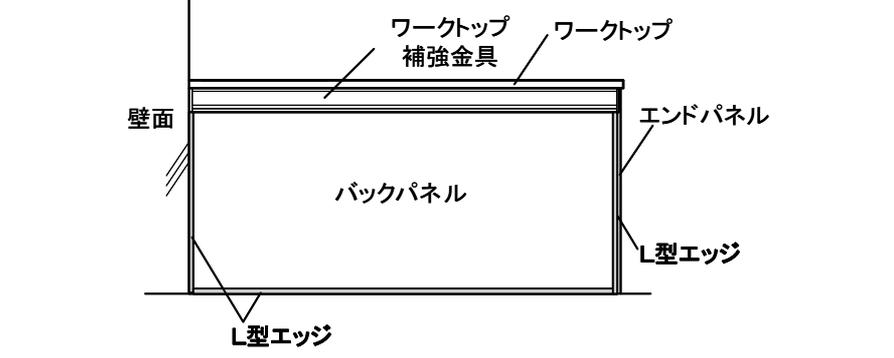
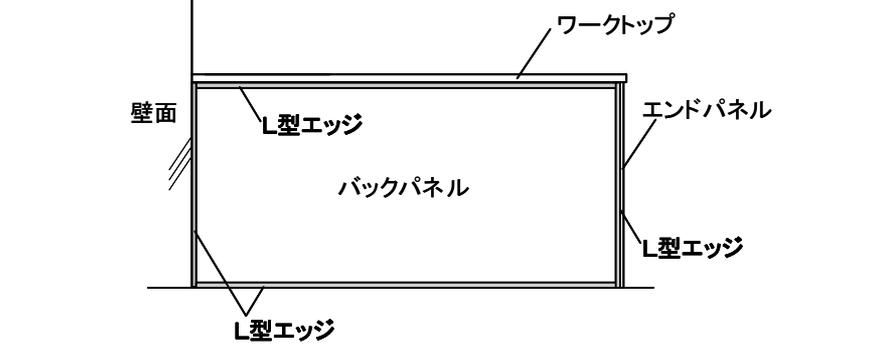
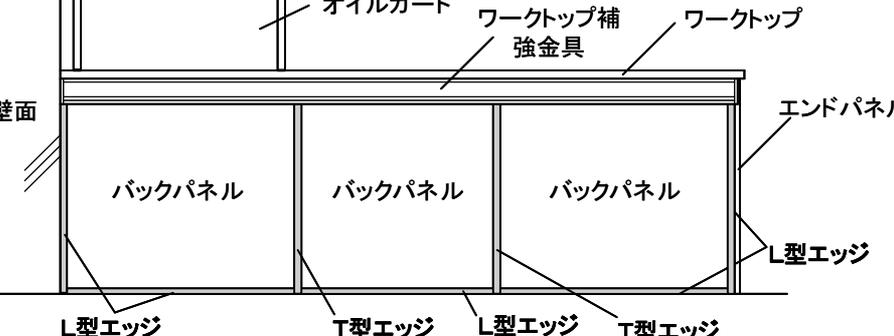
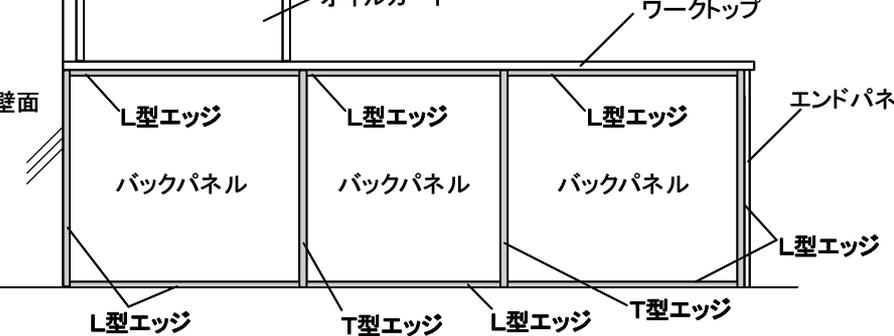


11. エッジの取付

【1. バックパネル用エッジの取付】

バックパネルに付属のエッジを、所定の長さにカットして、内面にシリコンを塗布し、下図のように取付けてください。

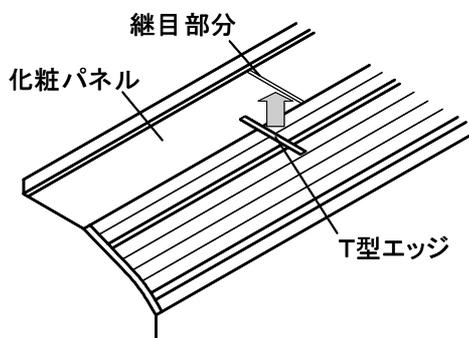


<p>ホーロー製バックパネル バックパネル2枚 ワークトップ奥行 90cm・80cmタイプの場合</p>	
<p>ホーロー製バックパネル バックパネル1枚 ワークトップ奥行 104.5cmタイプの場合</p>	
<p>ホーロー製バックパネル バックパネル1枚 ワークトップ奥行 90cm・80cmタイプの場合</p>	
<p>木製バックパネル ワークトップ奥行 104.5cmタイプの場合</p>	
<p>木製バックパネル ワークトップ奥行 90cm・80cmタイプの場合</p>	

【2. ワークトップ用エッジの取付】

注)化粧パネルに継ぎ目が存在する場合のみ取付けてください。
(継ぎ目が存在してもⅡ列型の場合は不要です。)

付属のエッジ(白)内面にシリコンを塗布し、右図のようにワークトップ裏面(リビング側)の化粧パネル継目部分に、所定の長さにかつしてから取付けてください。



12. 機器類、各部品の取付

加熱器具・食器洗い乾燥機など機器類の設置方法は、機器本体に付属の設置説明書と、シンクキャビネットに付属の設置説明書を合わせて参照してください。

また、排水部品・収納部品などの取付や、給水管・排水管の接続方法なども、シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照してください。

13. 扉の調整

扉の調整方法は、シンクキャビネットに付属の設置説明書の「扉の調整」の項を参照してください。

5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2. 清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水ぶき、空ぶきを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3. 梱包材その他取付部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

